

来週の「売り物」記事はこれ



2014年9月19日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

期待しているのか……。北朝鮮 拉致再調査

【特定失踪者】家族の闘い

21日(日)



日朝間に深々と突き刺さった北朝鮮による拉致事件。拉致被害者らの再調査が北朝鮮の手で進められています。拉致被害者というと、わずか13歳で連れ去られた横田めぐみさんら17人の政府認定の被害者の方々が知られていますが、北朝鮮に連れ去れた可能性のある「特定失踪者」と呼ばれる人たちは約860人にのぼっています。今回の北朝鮮による再調査はそうした特定失踪者の人たちについても何らかの対応があると見られています。ほとんどの人たちが1970年代後半から80年代前半にかけて、理由もなく行方が分からなくなりました。残された家族は、政府認定の拉致被害者の方々とは違った意味で、つらい年月を過ごしてきました。「特定失踪者」家族の知られざる「孤闘の日々」を描きます。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

長期連載「戦後70年に向けて」

新シリーズ「原子の森深く」

朝刊2面 23日から

日本人初のノーベル賞受賞者、湯川秀樹博士の弟子で、原子力の世界に深く関わった森一久さんの生涯を描きます。筆者は藤原章生編集委員です。

西島秀俊さん、福山雅治さんはムリでも……

カッコいい40代になりたい！


夕刊2面特集ワイド 22日(月)

「40代は本当にカッコいい大人になれるかどうかのターニングポイント」なのだそうです。それを知った40歳目の男性記者は「そうは言っても、カッコいい40代になるにはどうすればいいの？」と頭を抱えました。もちろん、女性の心をわしづかみにしている人気俳優のようになることが無理なのは分かっています。せめて、教養があり、周囲に気遣いができて、自分の生き方を持っている大人になりたいと願い、カッコいい人生の先輩たちに「40代を生きる極意」を聞いて回って結果は……。



「女の気持ちをたずねて」

おんなのしんぶん面 22日(月)

おんなのしんぶん  京都市右京区で男子学生相手のアパートを営む今井信子さん(74)。今年、開設50周年を迎え、OB30人が集まって、記念の同窓会も開かれました。「入居したいという学生がいれば、体が動く間は続けたい」。



どうぶつと生きる ペットの防災対策

くらしナビ 20日(土)



東日本大震災、その後の福島第1原発事故発生の際、「ペットを置いてきてしまった」と苦しむ飼い主が大勢いました。災害に備え、犬や猫の飼い主は、日頃からどんなことに注意し、どんな備えをしておいたらいいのでしょうか？環境省が作ったガイドラインや専門家の意見を参考に具体策を考えます。

孫育てのツボ・先祖に手を合わせる

くらしナビ 22日(月)

核家族化が進み、夫婦と子どもだけの世帯では、仏壇がなく、宗教も持たない方が一般的です。幼い子が「ご先祖様に手を合わせる」という機会がなかなかありません。こんな時こそ祖父母世代の出番。専門家は、孫が我が家にやってきたら、仏壇の供え物や鐘を鳴らすのを手伝わせましょう、とアドバイスします。



密着 — The 経営者 ファーストリテイリング会長兼社長 柳井正さん



企業の経営者に記者が迫る「密着 The 経営者」。ユニクロなどを国内外で展開するファーストリテイリング(FR)の創業者で、社長の柳井正さん=写真=取材しました。強烈なリーダーシップで、経営拡大を続けてきましたが、新卒入社の高離職率の高さから「ブラック企業」のレッテルを貼られたこともあり。そのFRがここに来て経営方針を大きく転換しようとしています。新たなチャレンジを続けながら、成功しなければすぐに撤退する「トライ&エラー」を繰り返してFRはどこに進もうとしているのでしょうか。